

退職手当を引き下げるな



退職手当を引き下げるなと要求する香教組・高教組組合員

香教組・高教組56名の組合員で県教委交渉

意思統一集会
交渉を前に県庁玄関で意思統一集会が行われました。高教組安部委員長、香教組中尾委員長らが「県職連合の交渉の前に県教委との交渉をもてたことは意義のあることだ」と交渉の目的を話しました。続いて、県職連合の森委員長、県労連の堤議長も駆けつけ、連帯の挨拶をしました。

今年度退職する。生活設計が立たない。高齢の父母の介護があり切実な問題だ。12月25日の提案を受け、すぐに150万円減らすとは許せない。今40歳。退職まで決して小さな問題ではない。もつと退職金が減るだろう。給料が下がってきた世代。年金も出ないのではないか。家のローン、子育てにお金がかかる。1年の生活費に当たる。働く意欲がなくなる。これで終わらないのでないか心配。今までさんざんカットされ続けてきたのに。知事の退職金はどうなるのか教えて欲しい。審議を尽くさず上意下達のみ

現場の声・声・声



意思統一集会で挨拶する中尾委員長

「退職手当見直し」の県人事行革課提案を受け、香教組は高教組とともに、1月18日、県庁北館にて県教委交渉を行いました。交渉には、香教組・高教組合わせて56名の組合員が参加。約20名が切実な要求を届けました。

香川教育

発行所
高松市田村町1033-3
TEL(087)867-4797
FAX(087)867-6446
香川県教職員組合
定価1部50円 1月100円
(組合員の購読料は組合費を含む)

香教組ホームページ
<http://www.niji.or.jp/home/kakyoso/homepage>

香教組署名・力
ンパへのご協力
お願いします。

県職連合交渉に傍聴参加



県職連合決起集会に参加しシュプレヒコールをあげる香教組中尾委員長

1月22日県庁で県職連合の「退職手当引き下げ反対」決起集会、対県交渉が行われました。香教組・高教組から代表3名ずつ参加し、決起集会では高教組の安部委員長が連帯の挨拶を述べました。交渉にも傍聴参加しました。県職組合員の切実な要求に対し、総務部長は頑なに回答を変えようとしませんでした。

んなの声を聞いていいか悪いか審議して決めて欲しい。国が決めたからでは納得できない。退職手当を引き下げないでくださいと書かれた「香教組署名」に職場の全員が署名をし、多くのカンパをしてくれた。管理職からも働く意欲がなくなるからと言って励まされた。教職員の総意だ。民間企業で働いていたが教育の仕事がたくて教員になった。仕事の内容、身分保障・・・何を基準に仕事を選ぶか。教育の仕事に確信をもてなくては教育の質の低下につながる。子どもたちはいろいろな問題を抱えている。手間がかかることをしながらやると立派に成長する。子どもたちの思いを受け止めるためには、心のゆとりがない。体も心も健康でないといけない。安心して生活できないと不安になる。だからいろいろな問題が起こる。

改悪実施時期	条例公布後 (2012年度内の予定)	2013年10月1日～	2014年7月1日～
減額	約150万円	約300万円	約420万円



回答する健康福利課 泉課長

県教委回答に怒り
最後に県教委健康福利課泉義文課長が「人事行革課に伝える」と責任逃れのような回答。「伝えるだけではだめだ」「伝えるだけでは(いい回答が)返ってこない」「再提案してもらいたい」と会場は紛糾しました。

で講演した堤末果さんが使っていた。シヨック・ドクトリンとは、「大惨事につけ込んで実施される過激な市場原理主義改革」とある。これが独裁体制下のチリで実行に移されたそう。惨事便乗型資本主義「がはびこって、「小さな政府」主義が金科玉条になり、公共部門の民営化、福祉・医療・教育などの社会的支出の削減が断行され、多くの国民が窮地に追い込まれた。東日本大震災、福島原発事故に便乗して、次から次へと福祉・医療・教育が削られてはいないか。本当に人間を大切にしたい教育、政治が今こそ求められている。

シヨック・ドクトリン
「日本を取り戻す、教育を取り戻す」と自信たっぷり述べている。私たちの長年の要求であった30人以下学級に向け、ようやく歩み出した35人以下学級にストップをかけ、何が教育を取り戻すのか、シヨック・ドクトリンということばを昨年の香川県教育研究会

小黒板
退職手当削減、地方公務員給与カット、学校5日制見直し、35人以下学級推進ストップ。次から次へと悪いニュースが出る。まるで悪夢を見ているようだ。教育基本法を変え、教員免許更新制を始め、武道の必修化も決めた安倍首相は、「日本を取り戻す、教育を取り戻す」と自信たっぷり述べている。私たちの長年の要求であった30人以下学級に向け、ようやく歩み出した35人以下学級にストップをかけ、何が教育を取り戻すのか、シヨック・ドクトリンということばを昨年の香川県教育研究会

香教組女性部・青年部が県教委交渉 代替教員配置の遅れ解消に女性部提案

女性部

少人数学級拡大を

香教組 小4での少人数学級を強くお願いしたい。少人数学級のアンケートの結果はどうだったか。

県教委 今後の状況は国の検討したい。アンケート結果は学級経営等の安定化が図られていると報告をいただいている。

少人数指導についても様々な効果があると思っているし、もちろん少人数学級についても効果があると思っている。

香教組 きめ細かく見てもらえ保護者は喜んでくる。来年どうなるのか、懇談会のために言われる。

40人近くの学級に支援学級の子どももあり、ぎゅつぎゅつ詰めて学力の保障はできるのか。子どもと子どもの距離が近く



交渉する女性部・青年部

香教組女性部・青年部は1月10日に専門部としての要求をもとに県教委交渉を行いました。女性部は「小4の少人数学級実施」「代替教員の遅れの解消」「短期介護休暇の対象拡大」「セクハラ・パワハラ行為をなくすこと」などを、青年部は「スタート研修の中止」「初任者研修制度の改善」「臨時教職員の勤務条件の改善」など現場の教職員の声を届けて交渉しました。

なるとイライラする。安定した3年間を送ってきた保護者・子どもにとって、これからどうなるのか心配している。教員も学級編成がどうなるのか決まらな

いと落ち着いて実践できない。35人以下学級だったなら、机間巡視がはやくできる。15分の休み時間に丸つけや直しを繰り返すことができ、子どもが自信をつけていく。

代替配置の遅れ解消を

香教組 ある中学校では4月に病気で入院した教諭の代替が1ヶ月間来なくて

国語の授業をしないまま他の教科や自習が続いた。1カ月後やってきたのが保体の先生で、結局国語担当で授業を回した。7月からようやく国語の授業のできる講師が来た。

またある小学校では特別支援学級の講師が11月から休みがちになり、12月に退職した。代替がきたのが1月で子どもにとって2カ月担任がいなかった。

県教委 講師をハローワーク、ホームページで募集している。中学校は免許の問題があり、なかなか配置ができない。

香教組 代替を探してもいかなかったの、6時間講師が退職して、担任になった。退職した先生を活用す

ればいいのだが、しんどい現場に戻りたくないのが現状だ。それなら少人数指導の先生や専科の先生を増やすことで、変わって担任になることができる。そこに講師が入る。新しいシステムを考えて欲しい。

分かりました。



回答する県教委

短期介護休暇

香教組 短期介護休暇は、2親等までの親族を対象とし、同居別居を問わないこと。

県教委 公務員制度全体に関わることで均衡を図らないといけない。県教委独自ではできない。

香教組 泊まりこんでの介護、通院なら短期介護休暇がとれるのですね。はい。

パワハラ防止

香教組 パワハラについて指導がなされていない。大きな声で怒鳴られたり、1時間叱られたりした。年休をとった給食場の方に「年休をとってばかりいるとパートにかえるぞ」と言う。学期末の反省会に参加しないと連絡が来る。

啓発資料を全ての教職員に配布することにについては健康福利課でとりくむ。

パワハラ相談窓口がパワハラしている教頭になっている場合がある。

青年部

辞令交付付前スタート研修

香教組 3月いっぱい一般企業に勤めていたり、県外にいたりする。昨日日曜日に行われた。勤務の対応、公務上の事故対応など問題がある。

県教委 円滑にスタートできるように実施している。参加は任意であり、不利益扱いしていない。

香教組 一昨年12月の周知会に行けなかったと言ったがかなり圧力がかった。不利益扱いしないというのなら、そういうことがないよう徹底していただきたい。

県教委 はい。

香教組 負担が重くなっている。できるだけ現場の雰囲気味わい、現場の研修を深めることによって自覚や資質を高めてもらいたい。子どもとふれ合う時間の確保、形式的な指導案、報告書の提出などで配慮をお願いしたい。

県教委 校外研修短縮、長期休業中に行うなど様々な見直しを図ってきた。

香教組 出来上がった指導案を見せると「何なこれ」と校長が言い、初

任者担当も同様に非難した。これは指導になっていない。講師の待遇改善

何年働いても26万円で頭打ちになっているのに給与に差がある。埼玉で講師をしていた。埼玉では講師は教諭扱いなので、毎年退職金が1カ月分出ていた。少しでも改善できればいい。ピンチヒッターとなるべき22条講師をレギュラーとして使っているから、本当のピンチの時に困るのでないか。

教育全国署名集約集会

1月11日「ゆきとどいた教育を求める全国署名集約集会」が開催されました。国会議員要請行動を行った後、星陵会館で教育全国署名集約集会が行われました。

全体では8331万4639筆。香川は2万8734筆でした。ご協力ありがとうございました。2月中旬まで引き続き署名を集めますので、よろしく願います。



全国各地から署名集約数の発表